



## 【第331号 紙面案内】

第1面…巻頭言	第6面…実・学一体推進特別委員会
第2面…常任理事会	第7面…部会報告
第3面…理事会	第8面…山城賞報告
第4面…第87回全国研究大会 開催校案内	第9面…新刊著書紹介
第5面…第88回全国研究大会・自由論題報告募集	第10面…学会事務局

## 人と人との繋がりを次世代につなぐ全国研究大会

組織委員長 井上 善海 (法政大学)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に流行して3年が経過しました。その間、日本マネジメント学会の全国研究大会は、中止（第81回）を経て、オンラインのみで開催（第82回～85回）してきました。昨秋の第86回大会（朝日大学）では、パンデミック前に北海学園大学で開催された第80回大会のような“普通”の大会開催までには至りませんでした。久々に対面で開催することができ、議論が予定の時間いっぱいまで続く盛り上がりを見せました。

研究者が自分の研究成果を発表する機会の一つが全国研究大会です。オンライン会議システムによる開催は、旅費が不要で移動や宿泊の必要もないことから参加しやすいという声もあります。

しかし、オンライン開催ですと、大会の会場内を歩き回って立ち話をしたり、議論を交わしたりしながら研究者同士のコネクションを築くといったリアルな学会ならではの醍醐味がありません。大学院生や若手の研究者にとっては、先輩研究者と意見交換を行いながら、自分自身の今後のキャリアについて相談する機会もなく、副次的ではありますが大会開催地の観光を楽しむこともできません。

対面で開催することができるようになったとはいえ、新型コロナウイルスを完全に無くすことはまだまだ難しい状態で、コロナ後（after）の世界という意味の「アフターコロナ」ではなく、新型コロナウイルスと共に（with）ある世界という意味の「ウィズコロナ」時代が当分続きそうです。

このため、第80回大会までのような“普通”の大会に戻る計画を立てるのではなく、ウィズコロナが続くという事実を受け入れた大会開催の計画を立てねばなりません。

幸い、第87回全国研究大会（2023年6月9日～11日、文教大学）では、大会実行委員会において、「ウィズコロナ」時代の全国研究大会の試金石となるような、安心・安全な大会運営とするための様々な施策を講じて準備が進められています。

第87回大会のキーワードは「次世代につなぐ」です。多くの会員の皆さまに参加していただき、人と人との繋がりを次世代につなぐ全国研究大会にできればと願っております。上手にコロナと共存して今を乗り越えて行く大会にしましょう。

## ◇◇日本マネジメント学会 常任理事会◇◇

1. 日 時：2023 (令和 5) 年 3 月 29 日 (水) 18 : 00 ~ 19 : 10

2. 会 場：(オンライン)

3. 議 題：

(1) 第87回全国研究大会について

- ・2023 (令和 5) 年 6 月 9 日 (金) から 11 日 (日) にかけて、文教大学 (あだちキャンパス) で開催予定の第87回全国研究大会について、組織委員長ならびに実行委員長より、大会プログラム、統一論題セッションの登壇者、大会参加者の登録方法、今後のスケジュールについて説明があった。
- ・第88回全国研究大会について、2023 (令和 5) 年 10 月 6 日 (金) から 8 日 (日)、駒澤大学で開催することが提案され、承認された。
- ・第89回以降の全国研究大会について、開催校など検討中であることが会長より報告された。第89回大会は理事選挙があるため、関東で開催すること、第90回は関東以外での開催予定であることが説明された。

(2) 令和 5 年度の活動計画と予算の方針について

- ・会長より財政状況について説明があり、機関誌第26巻 1, 2 号合併発行、財政特別委員会設置について報告された。
- ・財政特別委員会から報告があり、①機関誌の発刊を年 1 回にすること、②会報のデジタル化、③ ①・②による事務経費の節減、が提案された。機関誌委員長、会報委員長から、追加の説明があった。以上の内容について、理事会、総会への提案を作成していくことが承認された。
- ・実学一体推進特別委員長から報告があった。第三者継承 (6/11)、事業承継問題の多面的検討 (7/29) をテーマに研究活動を実施すること、さらにオンラインの国際シンポジウムを構想中であることが報告された。これらを通じて活性化に向けて継続的に努力していくことが報告された。
- ・会長より、来年度の活動計画、予算配分については、今後理事会において継続審議することが説明された。

(3) その他

- ・山城賞委員長から、本年度該当者なしとの審査結果が報告された。
- ・国際委員会から、韓国経営教育学会との意見交換会の開催、第88回大会へ韓国側会長が参加予定であることが報告された。
- ・総務委員長から23年度活動計画作成への協力依頼があった。
- ・会報委員長から 5 月会報作成への協力依頼があった。
- ・経営理念研究部会長から活動実績と今後の予定について報告があった。
- ・関東部会長から活動報告と、協力依頼があった。

以上

## ◇◇日本マネジメント学会 理事会◇◇

1. 日 時：2023(令和5)年5月1日(月) 17:00~17:45

2. 会 場：(オンライン)

3. 議 題：

(1) 全国研究大会について

- ・第87回全国研究大会について、組織委員長から、2023年6月9日(金)から11日(日)にかけて文教大学(あだちキャンパス)で開催されること、大会プログラム、統一論題セッションの登壇者、大会参加者の登録方法、振り込み方法について説明がなされた。実行委員長より、対面で開催されること、企業見学や特別講演の状況について説明がなされた。
- ・第88回全国研究大会について、組織委員長から、2023年10月6日(金)から8日(日)にかけて駒澤大学で開催することが説明された。実行委員長から、企業見学、統一論題、自由論題のスケジュール等が説明された。
- ・第89回全国研究大会について、会長から、理事選挙があるため関東で開催すること、開催校など検討中であることが説明された。また、第90回以降の全国大会は関東以外での開催予定であることが説明された。

(2) 令和5年度の活動計画と予算の方針について

- ・会長から、財政状況について説明があり、機関誌第26巻1, 2号合併発行、財政特別委員会設置について説明がなされた。
- ・機関紙委員長から、機関誌の合併について説明がなされた。
- ・財政特別委員会から、経費削減について説明がなされた。
- ・会長から、実・学一体推進特別委員会について、産学交流セッションが企画されていることの説明がなされた。
- ・会長から、国際交流委員会について、韓国経営教育学会との意見交換会の開催、第88回大会へ韓国側会長が参加予定であることが説明された。

(3) その他

- ・山城賞委員長から、本年度該当者なしとの審査結果が報告された。
- ・全国研究大会の集金方法、口座開設について議論が交わされた。
- ・地方部会の他の学会との共催のケースについて、学会としての魅力やアイデンティティについて議論が交わされた。

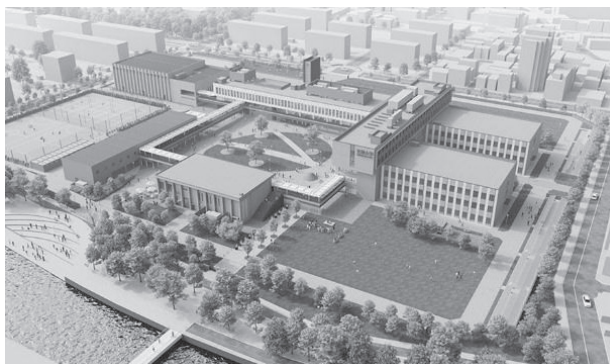
以上

## ◇◇第87回全国研究大会 開催校案内◇◇ 文教大学・大学紹介

文教大学は1966年に創立され、7学部・5研究科を持つ総合大学として成長してきました。文教大学の建学の精神は「人間愛」であり、「人間愛の教育」を実践しています。

2021年4月には、第三のキャンパスとなる、「東京あだちキャンパス」を開設し、経営学部と国際学部が湘南キャンパスから移転しました。東京あだちキャンパスには、地域・社会との和、人と人との対話、人と環境にやさしい循環の創造がデザインされており、周囲に塀を設けず、開放的な環境で学びやすく利用しやすい構造です。

第87回全国研究大会は、2023(令和5)年6月9日(金)から11日(日)にかけて文教大学(東京あだちキャンパス)にて、対面形式で開催いたします。プログラムと参加要領は、開催校よりお届けしておりますので、そちらをご覧ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



統一論題：「次世代につなぐマネジメント ～事業の創造と承継～」

日 時：2023(令和5)年6月9日(金)～11日(日)

場 所：文教大学 東京あだちキャンパス (〒121-8577 東京都足立区花畑 5-6-1)

企業見学：株式会社 今野製作所 神明事業所 (6月9日(金))

大会参加申込 Web サイト URL：<https://bit.ly/3y1iZAM>



- ・東武スカイツリーライン 谷塚駅から 徒歩 約13分
- ・東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅から バス 約20分
- ・つくばエクスプレス 六町駅から バス 約15分

## ◇◇第88回全国研究大会・自由論題報告募集◇◇

2023(令和5)年10月6日(金)から8日(日)、駒澤大学において開催される第88回全国研究大会の自由論題報告を募集します。下記要領に従ってご応募下さい。

### 1. 応募資格

本学会の会員。但し、第87回全国研究大会・自由論題として報告された方の応募はご遠慮下さい。

### 2. テーマ

本学会の目的に沿う以下のもの。

- ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
- ・日本的経営および国際的経営の研究
- ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究

### 3. 応募書類

応募には応募用紙の記入が必要です。日本マネジメント学会ウェブサイトより応募フォーマットをダウンロードし、注意事項を読んで原稿を作成し、下記締め切り期日必着にて電子メールでお送りください。

### 4. 締切 2023(令和5)年6月30日(金) 必着

### 5. 応募先・問い合わせ先

- ・応募先：日本マネジメント学会事務局

jimukyoku@nippon-academy-of-management.com

- ・問い合わせ先：組織委員長 井上 善海 soshiki@nippon-academy-of-management.com  
開催形式が決まり次第、学会の会報やホームページ等にてお知らせいたします。

## ◇◇2023年度第1回経営理念研究部会開催のお知らせ◇◇

村山元理（駒澤大学）

以下の要領で企業倫理研究の大家である高巖先生をお招きして経営理念研究部会を開催いたします。皆様奮って参加ください。

「日本航空の破綻と再生に見る経営哲学の意義」

講師：高 巖 氏（明治大学経営学部 特任教授）

日時：2023年8月1日(火) 14:00～

場所：駒澤大学駒沢キャンパス（東京都世田谷区駒沢 1-23-1）

種月館 2階 3-210 教場・(Zoom オンラインを併用します)

会費：会員 1,000円 非会員 2,000円

※オンライン参加を希望される方は onose@komazawa-u.ac.jp にご連絡ください。

## ◇◇実・学一体推進特別委員会からのお知らせ◇◇

実・学一体推進特別委員会委員長 櫻澤 仁 (文京学院大学)

「実・学一体推進特別委員会+経営コンサルティング研究部会+経営革新研究部会の連携による3ステージに分けた事業承継問題の多面的検討」を展開中です。

学会のアイデンティティである実・学一体を強力かつ個性的に推進し、あわせて時代ニーズに即応した新しい産学官連携型の学会活動の姿を模索し、そのことを通じて法人会員や実務家会員の増強をも追求していくことが求められておりますが、それを強力に推進していくタスクフォースとして設置された実・学一体推進特別委員会では、その活動の一環として、部会・研究部会等と連動しつつ、シリーズ企画となるような研究会を開催予定です。詳細はメルマガにてご案内いたしますが、開催概要は以下の通りです。皆さまには奮ってご参加くださいますように。なお、新人会員・社会人会員の方も大歓迎いたします。

- ・研究会第一弾：3/25(土)「アフターコロナの事業承継」(関東部会)〈開催済〉
- ・研究会第二弾：6/11(日) 14:05~14:50「第三者継承の可能性を探る…戦略発想のトランスフォーメーション」  
(全国研究大会にて、産学交流セッションとして企画推進し合同運営)
- ・研究会第三弾：7/29(土) 13:30~16:00「第三者継承・プロ経営者そして経営革新」  
(3団体合同開催による研究部会。メインゲストとして、株式会社ダイアナ 代表取締役会長兼社長の徳田充孝氏を招聘予定)
- ・開催会場は代々木八幡駅近くの株ダイアナの7Fホール：<https://www.corp.diana.co.jp>  
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1丁目35番23号 ダイアナ本社ビル

## ◇◇関東部会からのお知らせ◇◇

関東部会長 大野 和巳 (文京学院大学)

2023年度(令和5年度)関東部会の開催予定をご案内いたします。

第1回関東部会は2023年7月23日(日)を予定しております。新型コロナウイルス(COVID-19)感染症も5月8日にインフルエンザなどの五類感染症に分類されることから、開催方法は対面形式とし、部会終了後には会員相互の懇親の場を設けたいと考えております。会員の皆様の応募をお待ちしております。秋に開催される第88回全国研究大会での報告を検討されている会員の方も、その準備のための報告機会として活用していただければありがたく存じます。大会プログラム、開催校等の詳細につきましては、決定次第、メールマガジンと学会ホームページにてお知らせいたします。

報告者の募集は、随時、行なっております。年内に第2回、年度末に第3回を開催する予定です。会員の皆様におかれましては、奮って応募くださいますようお願い申し上げます。関東部会長・大野和巳(kohno@bgu.ac.jp)、関東部会副会長・奥山雅之(mokuoku@meiji.ac.jp)、関東部会幹事・平屋伸洋(hiraya@meiji.ac.jp)迄、ご連絡ください。

## ◇◇北海道・東北部会報告◇◇

北海道・東北部会副部長 杉田博（石巻専修大学）

12月10日(土)午後1時から、日本マネジメント学会北海道・東北部会が経営哲学学会東北部会と合同で開催された。令和4年度は対面と非対面のハイブリットでの開催となった。会場となった東北大学片平キャンパスの地域イノベーション研究センター・セミナー室では、北海道・東北部会長の大平義隆氏が開会の挨拶をされ、研究報告が順次行われた。

第一報告は、我妻芳徳氏（山形大学大学院理工学研究科工学系博士後期課程・山形県立霞城学園高等学校）による「優良中小製造企業の経営における財務的視点から見る共通点～山形県内事例企業へのインタビュー活動から～」であった。山形県内の優良中小製造企業に財務的な共通点を見出して、それをインタビュー調査から検証したものであった。そして氏はキャッシュ・フロー・マネジメントを志向することが重要であると結論づけた。

第二報告は、大平義隆氏（北海学園大学）による「経営とは何か」であった。この問いを問い続けること、そこに経営学は存在する意味があるのではないかという研究方法論を根本的に考察する内容であった。経営学は経済学と何が違うのか、高校や大学における経営学教育はどうあるべきなのか、など問い続けなければならない問題を投げかけるものであった。旧名称が「経営教育」だった本学会にとって、また「哲学」する経営哲学学会にとって土台を確認する貴重な機会となった。

その後、経営哲学学会サイドから、黎敏利氏（東北大学 博士研究員）による「日中企業におけるCSRの情報に関する実証研究－突発危機の影響について－」の報告がなされた。コロナ禍のような突発危機の状況であっても（そういうときだからこそ）、企業は投資家をはじめとするステークホルダーに対してCSR情報を開示することが重要であり、結果的にそれが企業業績を向上させるのではないかという仮説とその分析モデルが提示された。今後の実証研究が期待される場所である。経営哲学学会からはもう一つ、高浦康有氏（東北大学）の「パーパス経営の試論的考察」が予定されていたが体調不良により次の機会を待つこととなった。

ハイブリット開催ということで東北地方以外にお住いの方々に多数参加していただいた。質疑応答も活発になされ、大変有意義な部会だったと思う。当日ご参加くださった皆様に感謝申し上げます。

## ◇◇第2回 経営理念研究部会報告◇◇

村山 元理（駒澤大学）

2023（令和5）年2月18日（土）午後2時から、日本マネジメント学会の第2回経営理念研究部会が、久しぶりに対面にて駒澤大学で開催され、同時にオンラインでも配信された。当日は、「経営理念・企業文化を軸とした100人の経営者づくり—1000年の永続発展するハピネス企業づくり—」を論題として、橋本英雄氏（AZ-COM 丸和ホールディングス株式会社執行役員・人事教育部長、株式会社丸和運輸機関取締役執行役員 教育本部長兼教育部長）から詳しく同社の経営理念とその実践について熱弁していただいた。その後、フロア全員から質疑応答のディスカッションができた。

同社は、和佐見勝氏によって1970年にトラック1台の八百屋から始まり、3PL（サードパーティ・ロジスティクス）などへ事業を進化させた。2022年には創業50周年を祝い、2022年にはグループ連結で1,333億円の売上高をほこる。その背後には、1980年代から同業者のネットワーク構築の歴史が生きていた。パートナー企業をたばねたAZ-COM ネットとしての小口配送の会員企業1,835社には20日以内に現金が支払われている。強大な購買力から、メーカーから直接トラックを購入し、燃料費も安く購入し会員企業は恩恵を受けている。この日本全国規模の輸送力は、災害時対応（BCP）を通じた社会貢献活動にもつながっている。

創業以来9社（2018年以降6社）をも合併してきた丸和グループが成長した背景には、桃太郎文化に集約される企業文化がある。これは和佐見氏が命をかけ、魂を宿したものである。「同志」と呼ばれる従業員たちは、その実践を通じて、桃太郎文化の伝達・伝授が職場単位でも徹底されている。

1988年入社の橋本氏は和佐見社長の人柄にふれ、大手電力会社の内定を蹴って「同志」となることを決意したという。本当に日本一の物流会社となることを目指して、合併企業に桃太郎文化を植え付け、自らも経営理念の伝道師と主張されたことに感銘を受けた。

## ◇◇山城賞の審査結果について◇◇

山城賞委員会委員長 辻村 宏和（中部大学）

2022（令和4）年度の実業賞（本賞）及び同・奨励賞の報告をいたします。残念ながら昨年度と同様、本賞は「応募作品数：1、該当者：無し」、奨励賞は「応募作品数：0」という結果となりました。

いずれの賞も応募が低調にございましたので、2023（令和5）年度は多くのご応募を期待しております。その際には、本学会が定める「本賞・奨励賞応募基準」を必ずご確認くださいませようようお願い申し上げます。



## ◆◆会員の最新刊著書を紹介◆◆

## 長坂康代著『ベトナム首都ハノイの都市人類学』

刀水書房 5,200円＋税

ベトナムの首都ハノイの民衆生活の生活動態とその文化を考察し、ベトナム都市下層をなす村からの移動の民を吸収して普通の都市民による商店街づくりとコミュニティ経営がなされるという、総合的・有機的な動態的人類学を描き出した。

## 藤墳智一著『次世代エンジニアを育てる自己決定学習の理論と実践』

九州大学出版会 5,000円＋税

産業における急速なイノベーションに適応するためこれからの人材育成はどうあるべきか。本書では、効果的な技術経営や企業内教育の進め方という点に触れつつ、大学とエンジニアの仕事を結びつける資質、能力、学習方法を探る。

## 當間政義著『心理的エンパワーメントと組織の再活性化』

学文社 3,700円＋税

日本企業の経営の行き詰まりが感じられる中、長期的な視点における競争優位の構築を志向する組織の再活性化を考察する。マネジャーのリーダーシップと組織メンバーの心理的エンパワーメントに着目し、2000年代と2020年代のモデルの時代による差異も統計的に検証する研究書籍である。

## ◆◆会員最新刊著書紹介欄への申し込み方法◆◆

会員最新刊著書紹介欄では、会員著書の情報を掲載しております。本欄に書誌情報および内容紹介文の掲載を希望なさる方は、以下の手順に従ってお申し込みください。書誌情報のみの掲載も受け付けております。会員著書紹介欄に掲載できるのは、会員単著、会員同士の共著、共著者として会員が参加している著書、のいずれかに該当する書籍です。

掲載をご希望の場合には、会報発行月前月20日までに、会報委員長および事務局長宛に書誌情報、紹介文（100字程度）の原稿をお送りください。

会報委員長：n-hosoga@sophia.ac.jp

事務局長：jimukyoku@nippon-academy-of-management.com

紹介文掲載の場合は、完成原稿でお送りください。編集の都合により、校正の必要が生じる場合、会報委員会から連絡を差し上げることがありますので、ご対応ください。

**学会事務局より****◇◇新年度会費のご請求について◇◇**

新年度(令和5年度)のスタートに伴って、4月1日付けで令和5年度会費のご請求書を会員の皆様方にご送付しました。つきましては、会費の支払期限(6月30日)までに必ずご送金をお願い申し上げます。

学会運営の財源は会員の皆様方の会費のみで賄われておりますので、財源を確保して学会活動を円滑に運営するために皆様方の切なるご協力をお願い致します。

**◇◇会員情報の変更連絡のお願いについて◇◇**

毎年春は転勤やそれに伴う転居等の時期に当たっております。勤務先・自宅住所・電話番号・メールアドレス等の変更がある場合は、メールやゆうちょ銀行の払込取扱票の通信欄への記載により速やかに事務局までご連絡をお願い致します。

会員情報の変更連絡をいただけないために、機関誌、会報、請求書等が事務局に返却されるケースが多発しておりますので、これらを会員の皆様方にタイムリーにお届け出来るように、是非ともご協力をお願い申し上げます。

**メールマガジン・学会ウェブサイトをご利用ください**

大会、部会の開催や募集、その他ニュースなどタイムリーにお届けするにはメールマガジンが最適です。ぜひメールアドレスの登録をお願いします。

また学会ウェブサイト(<http://nippon-management.jp/>)では、学会の最新の情報をアップしております。ブックマークへのご登録をお願いします。

**編集後記**

新年度を迎え、新緑が鮮やかな季節となりました。対面での交流が増えてきたことを踏まえまして、本号から部会開催等の告知や募集に関する記事を先に掲載しております。会員皆様の交流ならびに研究活動の活発化に寄与できれば幸いです。本号もご協力を賜りまして誠にありがとうございました(東)。

(会報委員会 細萱伸子(委員長)、本号担当: 田中克昌(副委員長)、平井直樹、東史恵)

発行 **日本マネジメント学会**  
(旧称: 日本経営教育学会)

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5  
九段会館テラス2F  
株式会社山城経営研究所内  
TEL 050-1790-3506

E-mail: jimukyoku@nippon-academy-of-management.com  
URL: <http://www.nippon-management.jp/>

印刷 ㈱ドットケイズ 〒03-5206-1626  
E-mail: win@good-ks.co.jp